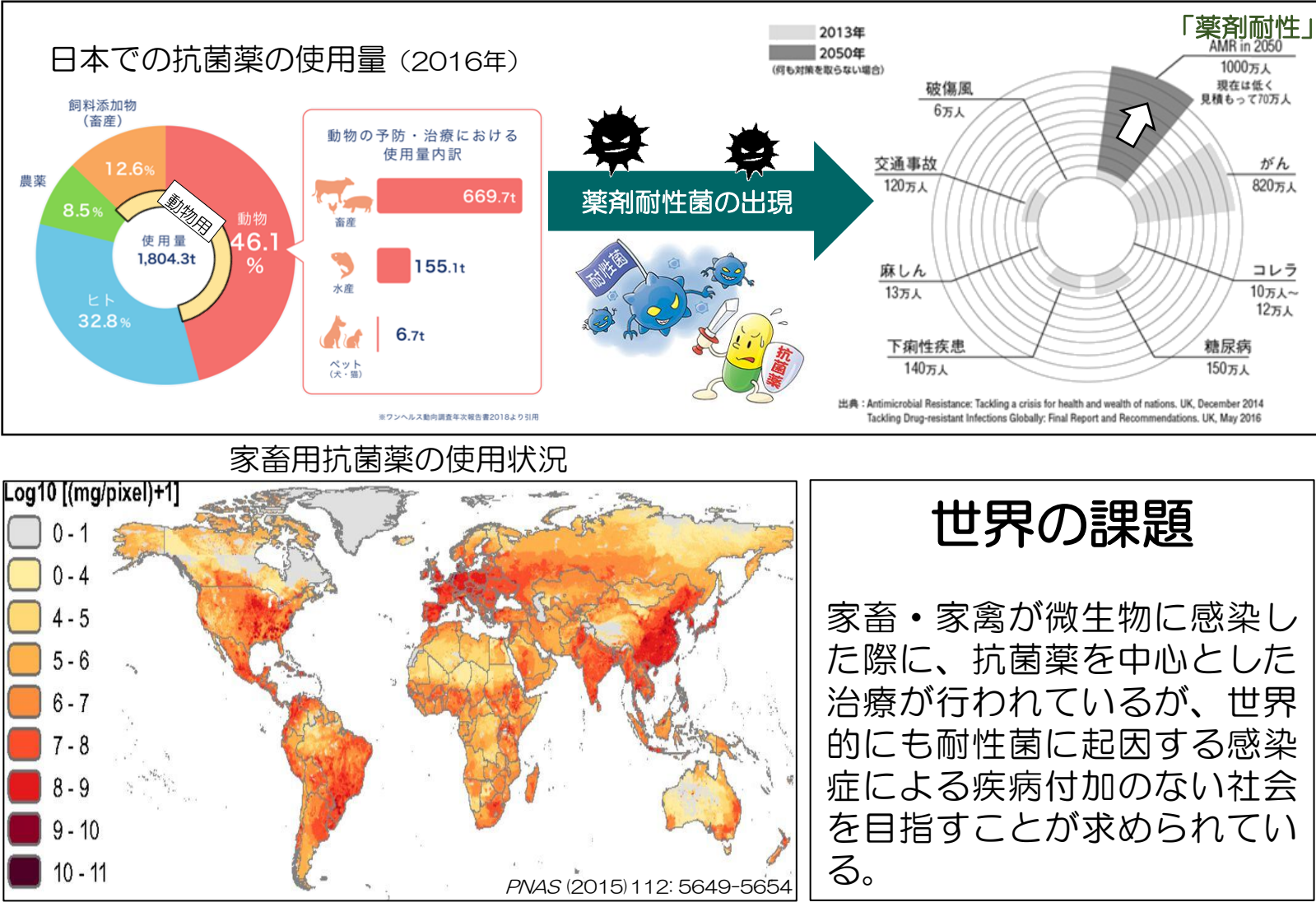


家畜・家禽の健全育成を目指した免疫・微生物研究開発プラットフォーム

目的	家畜・家禽の健全育成を目指した免疫・微生物研究を通して、特に家畜・家禽の粘膜感染症制御を可能にする素材を社会実装することを目的とする。特に、薬剤耐性対策として、抗菌剤に代わる次世代の動物医薬品の開発とその普及を目指した活動を実施する。
内容	(1) 家畜・家禽の健全育成を目的とした免疫・微生物製剤の実用化を念頭に置いたビジネスモデルの構築 (2) 家畜・家禽の腸管免疫・腸内微生物のモニタリングおよび腸内デザインに関するビジネスモデルの構築 (3) 家畜・家禽の腸内環境の健全化に向けた知財情報の調査及び知財戦略の策定 (4) 研究成果等の情報発信及び新たなプラットフォーム会員の勧誘 (5) その他「知」の集積と活用 の場産学官連携協議会の活動への協力 等

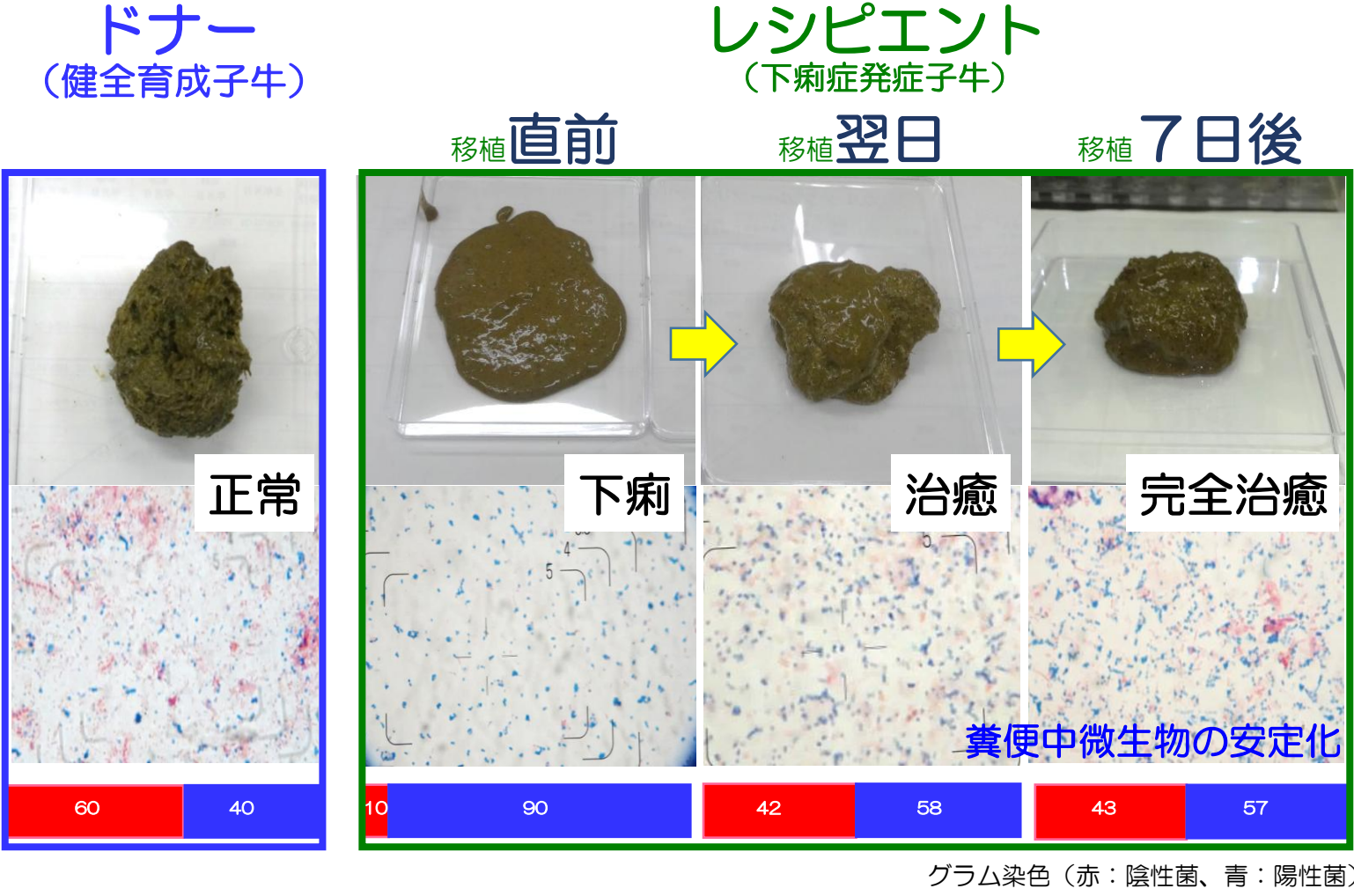
抗菌薬が多用される今日の畜産業と薬剤耐性菌問題



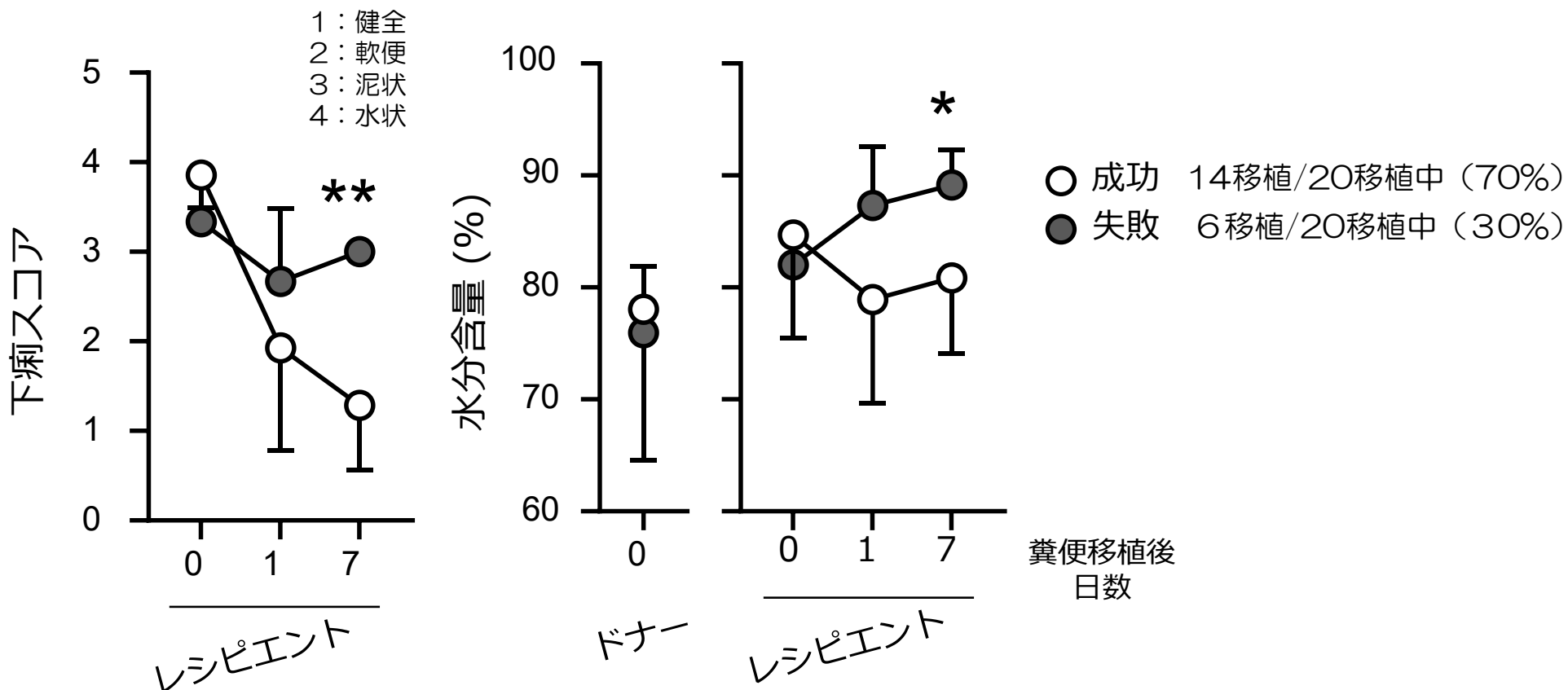
子牛の下痢症を対象とした有用微生物叢移植の手順



有用微生物叢移植の有効性



難治化した下痢症でも7割の確率で治癒可能



Microbiome, 10: 31, 2022

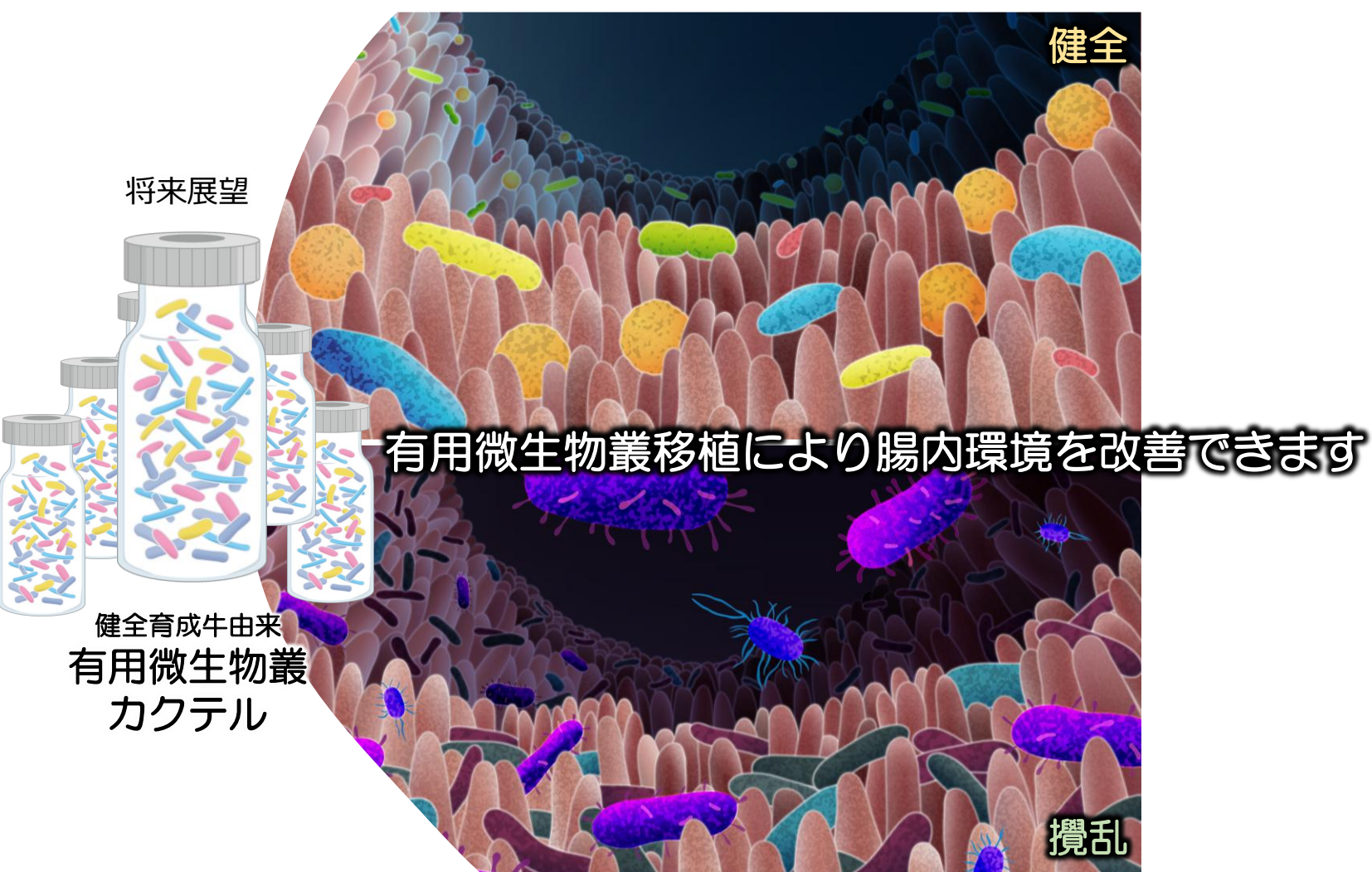
有用微生物叢移植の有効性に関するメカニズム説明

有用微生物叢移植により数日 (1-7日) 以内に腸内環境が健全化され下痢症が治癒

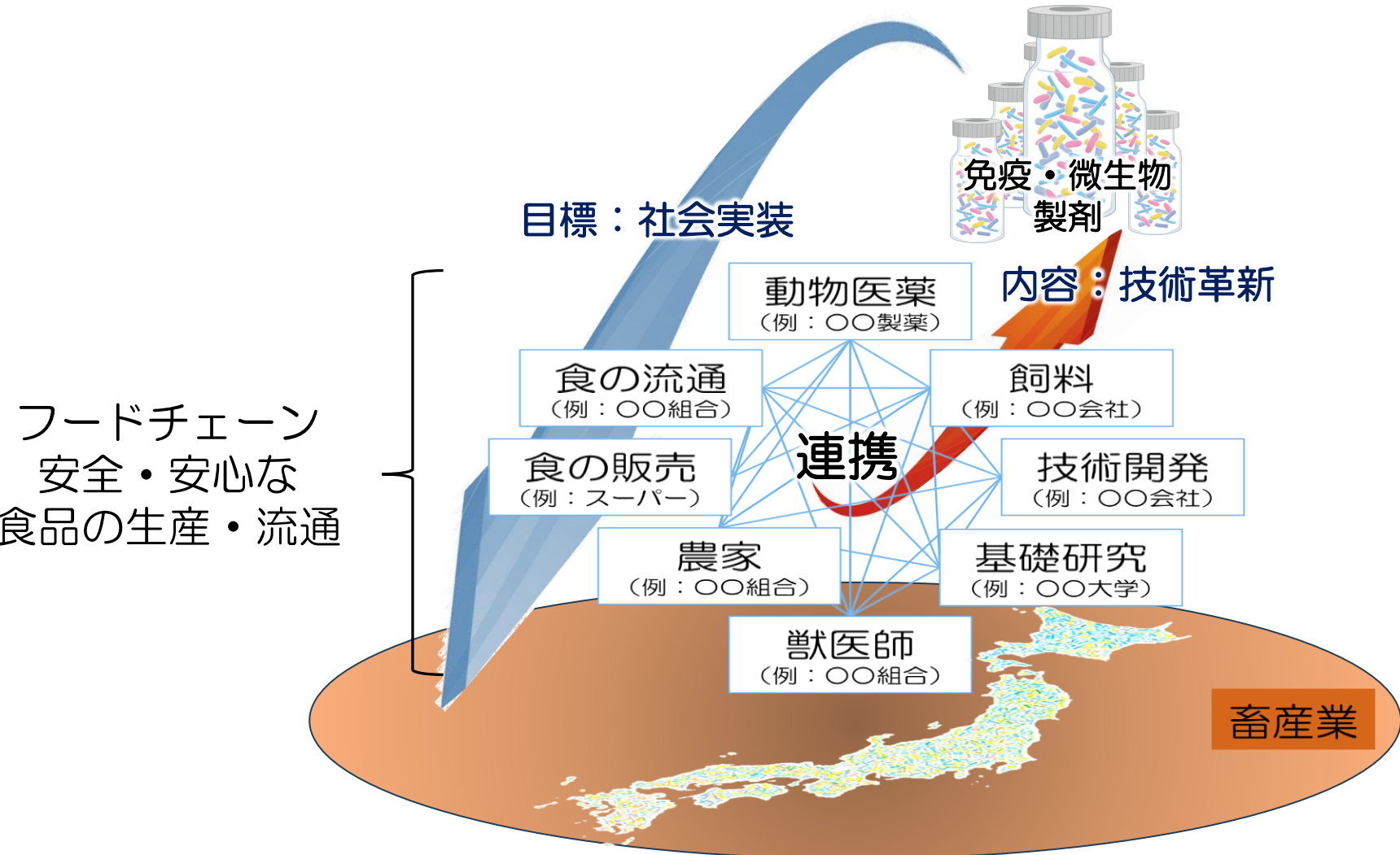


Microbiome, 10: 31, 2022

有用微生物叢移植の将来展望



プラットフォームの将来展望



お問合せ

家畜・家禽の健全育成を目指した免疫・微生物研究開発プラットフォーム
構成員：共立製薬 (株)、(国) 東北大学、千葉県農業共済組合、 管理運営機関：(国) 東北大学